

# JPDA 5月定例理事会議事録

日 時：平成29年5月30日（火）午後1時00分～午後3時20分

場 所：東京ガーデンパレス 3階 白鳳

出席者：理事24名中23名（加藤芳夫、伊藤 透、青木（入江）あずさ、井上 聡、  
牛島志津子、畝野裕司、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、  
加藤（桑）和美、加藤憲司、小原 司、佐野暁子（文胡）、竹内清高、中越 出、  
永島 学、永田麻美、中森恭平、藤田 隆、森 孝幹、八木勇達、山崎 茂）  
欠席届（信藤洋二）  
監事2名中2名（池田 毅、時田秀久）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者23名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、伊藤透副理事長、池田毅監事、時田秀久監事の4氏であることを確認し、議事に入る。

なお、今回は終了後総会を控えており、いつもより審議時間が短いことから、議案順が前後した部分があった。(時間をとる委員会報告での宿題事項は事務局報告の後とした。)  
(決裁事項の議案号数はゴシック。)

## 第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに「あの人を会員に」キャンペーンで推薦された個人1人があり、審議の結果、満場一致で推薦状を出状することになった。

(1) あの人を会員に

小久保あきと（推薦者＝三原美奈子）

本日の理事会までに、入会申込み法人3社があり、定款6条並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人3社の入会を承認した。

(2) 法人会員（3社）

<東日本>

学校法人 桑沢学園 専門学校 桑沢デザイン研究所（推薦者＝伊藤 透）

アビッド・フレックス株式会社（推薦者＝時田秀久）

株式会社ひでじま（推薦者＝（有）オグラプリント 小椋國雄）

## 第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した個人会員の退会を承認した。

### （1）個人会員（3人）

＜東日本＞

松林慎太郎[4月末退会希望]（株式会社スタジオ・マッスを退社するため）

木口理津子[5月末退会希望]（一身上の都合により）

＜中日本＞

生田 和雄[6月末退会希望]（定年を機にデザイン界からの引退を考えたいため）

## 第3号議案 協会名義（後援）使用承認の件（1件）

渡邊事務局長より下記の1件については、これまでに協会名義使用承認実績があることから、すでに回答済であることが案内された。

・「p a k e c t i o n ! 世界のPB展」（主催：株式会社 竹尾）

＜竹尾 見本帖本店2階：6月30日～7月28日＞ 詳細は添付資料をご覧ください。

## 第4号議案 正副理事長報告

加藤理事長、伊藤副理事長より現状の活動状況についての以下の報告があった。

加藤理事長報告

- ・4/21 2017年度NPOタイポグラフィ協会の贈賞式に山崎前事務局長が代理出席。
- ・4/25 毎日デザイン大賞授賞式に出席。
- ・6/2 公益社団法人日本インテリアデザイナー協会 総会後の交流会に渡邊事務局長が代理出席予定。
- ・6/15 2017日本パッケージングコンテスト（主催：日本包装技術協会）審査会に信藤理事が代理出席予定。
- ・「おいしい東北パッケージデザイン展」審査委員就任依頼。  
（依頼書添付）  
過去に指摘された問題があったが、今後改善する方向にあること、また、JAGDA、東北経産省からの強い要請もあったことから、基本的に受諾する予定。

伊藤副理事長報告

- ・6/3 日本インダストリアルデザイン協会のシンポジウムに出席予定

## 第5号議案 委員会報告

### <報告事項>

#### ○デザイン保護

- ・小川理事から、募集チラシを参照しながら、「6/1に予定されているパッケージデザイン知財セミナー<だいじょうぶかな?!の前に。>は71名の参加予定者となり満員盛況となっている」ことが報告された。

#### ○東日本

- ・伊藤副理事長から、募集チラシを参照しながら、「6/8に予定されているセミナー<アメリカのパッケージデザイン教育の今>は申込みを開始してから2日で定員(40名)が一杯になり大変好評である」との報告があった。

加藤理事長からは、「海外との接点を保つためにもこのような内容のセミナーには積極的に取り組んで欲しい」との発言があった。

今回はWebにセミナーのビデオ(動画)を掲載することでインターネット委員会も了解しているが、セミナーは有料、Webは無料という不公平感も残ることから、今後の課題として基準を明確にしていく必要がある。(次回以降の宿題事項)

#### ○出版

- ・山崎理事から、5月に発刊された「年鑑日本のパッケージデザイン2017」の紹介と、6/15～7/19の間、代官山蔦屋書店2号館で、入賞作品の中から大賞、金賞の一部を「年鑑」とともに展示するイベントが案内された。展示期間中の7/8(土)には大賞受賞者2名と年鑑AD、加藤理事長4名でのトークイベントが開催される予定。蔦屋においては2015年に続き2回目のイベントとなる。
- ・渡邊事務局長より、今年の巡回展の概略と、現在は大阪成蹊大学にある入賞作品(大賞～銅賞まで)の輸送に関しての説明があった。

あわせて、今後、外部から同様の依頼が増えていった場合のオペレーションを検討していきたい旨の発言があった。

#### ○国内交流

- ・桑理事より、2018年のデザイン会議についての準備・検討状況についての案内があったが、加藤理事長からは今後の全国会議・デザイン会議のあり方について、今までのやり方を継続すべきかどうかも含めて、理事会の場でもっと議論を深めたいというコメントがあり、次回以降の宿題事項となった。

ここで、加藤理事長から、梅原理事の毎日デザイン大賞特別賞受賞のお祝いの言葉を述べられた後、梅原理事からはJPDA役員一同で送ったお花に対してのお礼と今回の受賞前後のエピソードについてのお話があった。

## ○西日本

- ・井上理事より、「11/10～11の四万十デザイン会議についてはすでにWebサイトで概略の案内はされており、参加希望者は6/1から申込み用紙をダウンロードして送ってもらう手はずになっているが、印刷物（募集チラシ）もアップされたので、今日の総会、交流会で出席者に渡したいと考えている。（参加希望はダウンロードされた用紙のみの受付）また、今回はチラシを会員に送るのではなく、四万十市の公共施設等に置いていただく他、適当な施設・場所について各理事のご協力、ご紹介をお願いしたい。」というコメントがあった。

事務局からは翌日会員宛メールを一斉送信する予定。

飛行機についての情報は割引チケットの発売時期がこれからなので、わかった段階で参加希望者には別途ご案内していくとのこと。

## ○国際交流

- ・森理事から、資料に沿って10/28～29に予定されている「APD in TAIPEI 2017」についての概略案内があった。

次回の理事会で以下の事項を確認したいとのこと。

◎書籍と表記 掲載データ収集

◎代表者挨拶

◎広告（2ページ分：英語表記）

◎APD貢献賞対象者

◎APD賞審査員の各情報

◎APD JAPANの開催年度

## ○インターネット

- ・中越理事より、JPDAサイトの更新状況について資料による案内があった。

JPDAカレンダーの完成がかなりあとになるので、資料に左下にあるインターネット委員会の紹介のように、委員会通信を各委員会のメンバー紹介や委員会活動情報、案内予告に活用いただきたいとのこと。

## ○広報

- ・永島理事より、8月発刊予定の広報誌「Package Design」26号のページ割についての案内があった。故田川氏に関しては5/30の記念講演会の内容を活用するように検討中。

## ○アーカイブ

- ・次回理事会にアーカイブ資料館の企画書を提出する予定。

## ○展覧会

- ・2018年に向けた企画内容を東日本、西日本と検討中。

## ○調査研究

- ・先日終了したアンケートをもとにした勉強会の内容を検討中。

## 第6号議案 事務局報告

渡邊事務局長から、資料に沿って下記の案内があった。

- ・会員状況について
- ・本日5月30日(火)のスケジュールについて
- ・第36回通常総会・記念講演会・交流会の進行手順確認について  
(別紙参照：総会については報告議案1件、承認議案が2件あるが、すでに議案成立に必要な議決権数はカバーされている旨の報告があった。)
- ・第36回通常総会等会場レイアウトについて(別紙参照)
- ・平成29年5月1日現在の会員数について
- ・ミュンヘンクリエイティブビジネスウィーク(MCBW)への後援について
- ・大阪成蹊大学における「日本パッケージデザイン大賞2017」展について  
(会場の写真と併せて、6/22に永田理事が60名の学生に対して行ったセミナー写真を案内したが、事前に展示会そのものを知らなかった理事も散見されたことから、今後、協会内外にいかに告知していくかを検討することになった。)
- ・平成29年度「事業カレンダー及び委員会名簿」の確認依頼について(別紙参照)

## 第5号議案 委員会報告の続き

<前回の理事会での宿題>

### ○教育

- ・永田理事より、スマイルズ作成の合意書についての説明があったが、加藤理事長から、デザイン保護の小川理事のアドバイスももらってこの内容を再考してほしいという指示があり、永田理事の方で次回の理事会までに再検討することとなった。

### ○アスパック (設立経緯とJPDAに関する2016年度予算について)

- ・渡邊事務局長より口頭で、アスパック設立までの経緯の概略を、また、森理事より、添付資料に沿って2016年度の業務指示書、JPDAの業務委託事項の当初予算案内訳についての説明があった。アスパック全体の費用では、海外からの招聘にかかる部分(旅費交通費)が最も大きく、JPDAに委託するのは主に制作物となっているとのこと。  
また、加藤事務局長からは、アスパック設立の経緯に関する補足説明と「グラフィック的には、国際交流基金(外務省)は契約対象を明確にしていく必要はあるが、「JPDA共催」という文言がなければ、企画運営に関わっているJPDAがはっきりとわかるようにしても問

題はない」というコメントがあった。

- ・これに対して、JPDA サイドからは加藤理事長、井上理事、小川（裕）理事から、以下の意見、要望が出た。
- ① これからはいろいろな資料の中で、JPDA がきちんと見えるようにしてほしいし、JPDA の多くのメンバーがアスパックの運営に、いつ・どこで・どのように関わっているかがわかるようにしていきたい。
- ② コンペティションの審査員の選任等については、結果を連絡いただくだけでなく、事前に一報入れてほしい。
- ③ JPDA の予算だけではなく、アスパック全体の予算、実績についてもこの場で報告してほしい。（これについては、加藤事務局長より、要請があれば、かなり複雑で細かいものになるが、報告するのはやぶさかではないというコメントあり。）
- ・加藤理事長より、次回の理事会を含め、毎回活動報告をするようにとの指示があった。

#### 第7号議案 次回理事会開催スケジュール

日時：平成29年7月12日（水）午後1時30分～5時

場所：文京シビックセンター 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前